



オリーブの耐寒性について



国東の気候とオリーブの耐寒性

オリーブの耐寒性は品種によって異なりますが、一般的にオリーブは -7°C ~ -10°C の寒さに耐えられるとされています。国東では、ほとんどの地域でオリーブの木が枯れるほどの厳しい寒さにはなりません、この低温に度々あう地域では、注意が必要です。



寒波の影響



- 2021年1月、国東では気温が -8°C 近くまで下がり、山の園地でオリーブの枝が枯れる被害が発生しました。
- 近年数十センチも雪が積もることがあるので、寒さに弱い品種には特に注意が必要です。
- ネバディロブランコは冬季になると葉の色が薄くなる特徴が顕著に見られます。



12月～4月は剪定の時期です

オリーブは果樹の中で生育が極めて早く、枝が生い茂ってしまうので、込み合う枝を取り除く剪定が必要になります。

12月～4月の間に剪定作業を行います。
(特に適期は1～3月です。) 植え付けから年数が短い樹でも、樹形を決める整枝剪定を行います。剪定については皆様の園地の状況が異なりますので、わからないことがあればお気軽に下記事務局までお問い合わせ下さい。



生い茂ったオリーブの木